

## 令和2年度コンサルティング業務実施概要

### ■連携強化地域における地域ブランディング業務

#### 1 目的

協会が指定した県内の連携強化地域（2地域）において、地域づくりの主体者である行政や民間事業者等が自律的に域内のブランディングを行うことができるよう支援を行う。

#### 2 方法

- ・「みどころ旬感協議会」を通じて実施希望地域を公募し2地域を選定
- ・キックオフミーティング：顔合わせ、ヒアリング、地域内視察
- ・第2回ミーティング：ブランディング方針たたき台を提示し協議
- ・第3回ミーティング：ブランディングセミナー、ワークショップ
- ・第4回ミーティング：ブランディング戦略提示、ディスカッション
- ・第5回ミーティング：次年度の方向性について意見交換
- ・成果発表会：次年度の方向性について合意

#### 3 結果

##### ①伊奈町

- ・ブランディングの取り組みの方向性について合意を得た
- ・事業を推進するうえでのワーキンググループの組成や運営方法は次年度以降にて模索、検討することとなった
- ・短期的に取り組む事業は早期に取り組むべきとの意見もあった
- ・(参考)「第2期 彩の国DMO戦略」から抜粋

伊奈町は、昨年、町制施行50年を迎えたが、町制施行20周年の際に町の花を「バラ」とし、「バラのまち」を謳いPRしてきた。町外からの来客も増えているが、さらに町内外からの認知度や経済効果を高めるため、「町全体をバラ園にしたい」という地域のビジョンのもと、その実現に向けた意見交換を重ねてきた。

これまでは、行政・観光協会・民間事業者等、一部の主体者により「バラまつり」やバラを使った新商品の開発等を行ってきたが、今後は、取り組みを町

全体へと広げるため、町民等の参画者を増やし一体的に行っていく。策定した戦略案に基づき「町全体をバラ園」にするためのワーキンググループを発足し、具体的な施策の実現へと向かう。

## ②北武蔵地区

- ・ブランディングの取り組みの方向性について合意を得た
- ・事業として実施するうえでの組織の在り方や展開方法は次年度以降にて模索、検討することとなった
- ・(参考)「第2期 彩の国DMO戦略」から抜粋

…北武蔵地区は、昨年度に誕生した枠組みで、ブランディングはほぼ白紙の状態であった。度重なる意見交換の中で出てきた、区域内の市町村に共通するストーリーは「水」。神流川と荒川にまたがるこの地域には、「水」の恵みによる四季折々の美しい里山の自然とともに、鬼や神にまつわる伝説があることから、この地域の美しさ、上質さ、神聖さを活かしたブランディングを行う。本事業に携わる北武蔵地区の「お客様にこの地域内で長く滞在し満足していただけるように」という共通の思いで、長瀬町を起点とした広域的なブランディング戦略をまとめていく。